



令和6(2024)年3月発行

魚津市室内温水プール整備だより

VOL. 4

工事の進捗状況

着工から約2か月が経過しました。工事現場の様子を定期的に撮影していると、駐車場だった面影がすっかりなくなり、駐車場アスファルト撤去、地面掘削、捨てコンクリート施工、基礎配筋と建物の土台作りが着々と進んでいる様子がわかります。



← 2月28日撮影

地面掘削の最終段階



↑ 3月7日撮影

捨てコン施工の様子

← 3月8日撮影

3月15日撮影 →

基礎配筋の様子①



← 3月21日撮影

基礎配筋の様子②



省エネの取組の紹介

魚津市は「ゼロカーボンシティ」に挑戦しています。

ゼロカーボンとはCO₂を全く排出しないのではなく、CO₂排出を抑えるとともにCO₂吸収を図ることで実質の排出量をゼロにするものです。

新しい室内温水プールは、太陽光発電による自家発電や最新技術・設備を用いた様々な省エネ手法により、建物の消費エネルギーをできるだけ抑える設計となっています。

太陽光エネルギーの利用

50kwの太陽光パネルを設置し、自家発電した電力を利用します。

天井高(4.0~6.8m) ※現プール10.0m

開放感を確保しつつ天井高を抑え、空調効率の向上を図ります。

自然換気

自然通風やナイトパージ(外気導入)により、空調なしで稼働できる期間を増やします。



断熱によるエネルギー効率向上

建物の断熱に加えてプール缶体の断熱をしっかり行うことで水温低下を防ぎ、加温エネルギーを削減します。

高効率モジュールチラー

高効率モジュール地らを採用し、空調設備とプールの昇温機能を併用し効率的に運用します。

給湯エネルギーの削減

高効率空冷ヒートポンプ式給湯機と太陽熱給湯システムを採用し、効率よく給湯エネルギーを活用します。

ZEB ready の認証取得

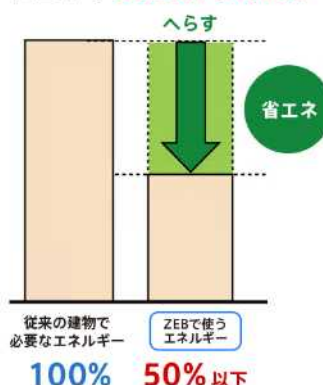
ZEBとは・・・Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で「ゼブ」といいます。

新しい室内温水プールは、消費エネルギーを基準よりも50%以上削減するZEB ready (ゼブレディ) の認証を取得しています。

室内温水プールでZEB readyの基準を満たしている施設は全国的にも珍しく、ゼロカーボンシティに挑戦する魚津市の取組を象徴する施設となります。

ZEB Ready (ゼブレディ)

省エネで 50% 以下まで削減



発行 〒937-0066 魚津市北鬼江313-2

魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 スポーツ係

電話 0765-23-1046 Mail sports@city.uozu.lg.jp

市のHPからもご覧になれます

